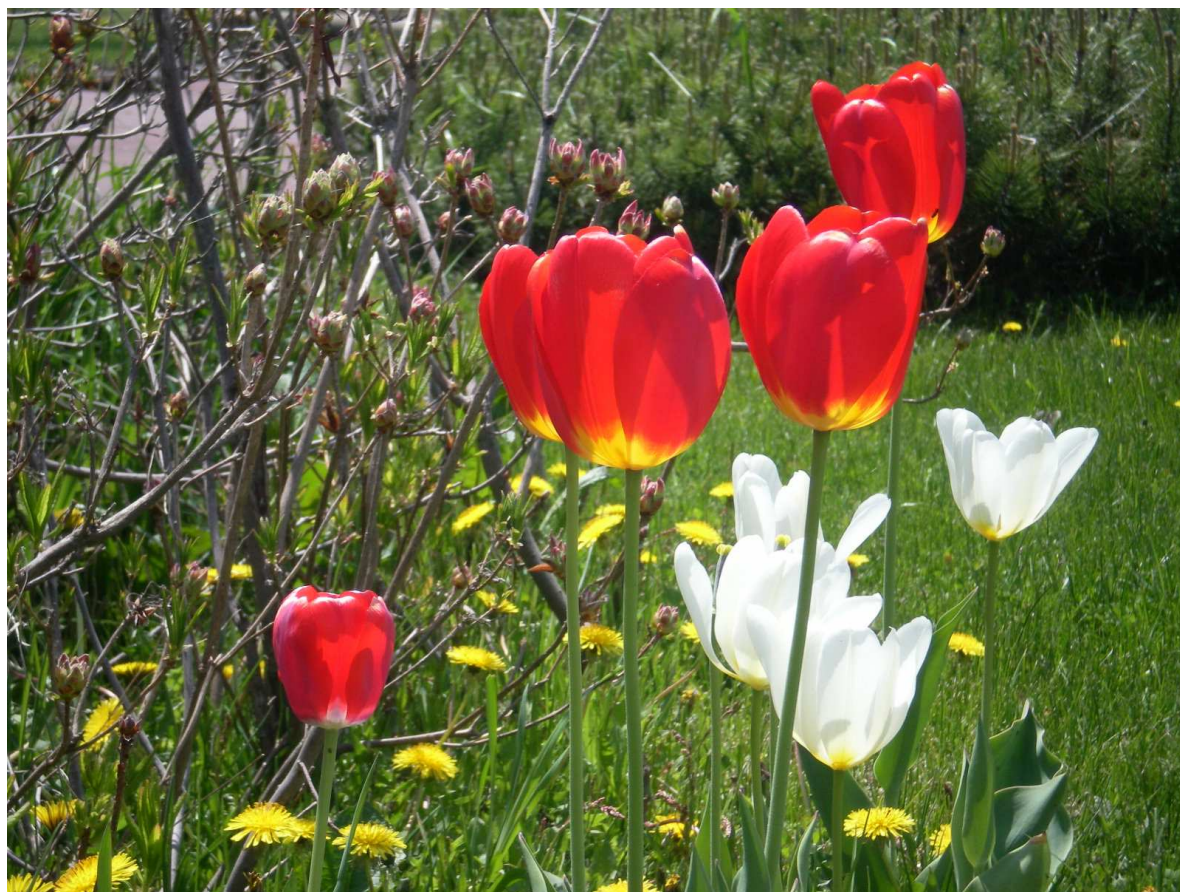


第 5 期

更 別 村 地 域 福 祉 活 動 計 画



社会福祉法人 更別村社会福祉協議会

ご 挨 拶

超少子高齢社会、無縁社会、孤立、孤独という言葉がメディアなどで取り上げられている昨今、地域コミュニティの再構築が叫ばれ、それに伴い地域福祉の重要性が見直されています。

更別村においても、少子高齢化が進んでいます。人口も僅かながら減少している状況であり地域持続のための施策は急務です。

しかしながら、地方財政は厳しい状況が続いております。

更別村では「いつまでも住み続けたいまちづくり」をテーマとした第5期更別村総合計画「夢大地さらべつ」や子育てや障がい、高齢者のための計画を策定し、「協働の村づくり」などの目標を掲げ、住民参加の地域づくりをすすめています。

その中で、更別村の地域福祉の推進をしていく為に、更別村社会福祉協議会もその役割を果たしていかなければなりません。

地域のニーズに対応するためのさまざまな施策を着実に実行するために、住民と行政、福祉関係機関や民間事業者、社会福祉協議会、保健・医療・福祉が連携をとりながら進んでいくことが大切です。

同時に、いつまでも住み続けるために、住民一人ひとりが住んでいる地域に関心を持ち、できる範囲で地域福祉活動へ関心を持ち参加していく姿勢が重要です。地域福祉は、人から押し付けられるものではなく、そこに住む住民自らが担い手となって作り上げていくものです。

更別村の地域福祉を推進していくために、要である地域の皆様の力が発揮されるよう「第4期 更別村地域福祉実践計画」に続き、『人とひと 地域の絆でまちづくり』を基本理念とした「第5期 更別村地域福祉活動計画」を策定しました。

計画は住民のその人らしい自立した生活のため、必要なサービスをより良いものとして提供するため、また住民の地域活動参加のための基盤となるものです。

この計画のより高い成果を伴った実現のために、皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年5月

社会福祉法人 更別村社会福祉協議会

会 長 大 田 英 夫

目 次

項 目	ページ
ご挨拶	1
第 1 章 更別村地域福祉活動計画とは？	4
第 2 章 第 5 期 更別村地域福祉活動計画の基本理念	5
第 3 章 第 5 期 更別村地域福祉活動計画の目標と施策の柱	6
第 4 章 第 5 期 更別村地域福祉活動計画の概要	8
第 5 章 第 5 期 更別村地域福祉活動計画	9
1、みんなで支えあう地域福祉の活動	9
1)地域福祉の意識づくり・環境の整備	9
2)地域福祉活動推進体制の充実	10
3)人材育成と住民参加の場づくり	11
2、住民の福祉向上と社会参加の促進	13
4)介護予防と要介護高齢者への対策	13
5)生活を支えるサービスの提供	14
6)生きがいづくりと社会参加の促進	15
3、住民の安定した地域生活の確保	17
7)ひとり親等世帯や子育て中の方への支援	17
8)低所得者等や援助が必要な方への支援	17
9)苦情、相談窓口の充実	19

目 次

項 目	ページ
第 6 章 地域の社会資源（更別編）	2 0



第 1 章 第 5 期 更別村地域福祉活動計画とは？

1、目的と策定方法

「住みなれた地域でいつまでも幸せに暮らし続けたい」この思いを実現するための複数年にわたる長期計画です。

誰もが個人としての尊厳を持ち、家族や近隣の人々と絆を持ちながら、地域の一員として安心して暮らし続けられる地域社会を築くことを目的に「人とひと 地域の絆でまちづくり」を基本理念に策定します。

社会福祉法人更別村社会福祉協議会の福祉部会員と事務局員で策定委員会を結成し、第 4 期更別村地域福祉実践計画を評価し、更別村の地域福祉活動のために今必要な事業等を、財源も含めて協議し策定しました。

2、期間

更別村の総合計画が平成 20 年度から平成 29 年度までの 10 年間であることから、平成 22 年度から平成 25 年度までの 4 年間であった第 4 期更別村地域福祉実践計画に続き、平成 26 年度から平成 29 年度までの 4 年間とします。

3、内容

目的達成の手段として 3 つの目標を定め、それに対する施策の柱を設け、それらを実行するための具体的な事業を記述しています。それらの事業活動の実施の有無を、具体的事項の表、平成 26 年から 29 年まで年度ごとに○印で示しています。

4、評価、見直し、変更

第 5 期更別村地域福祉活動計画は各年度終了後に 5 段階で評価し、理事会で確定させ、評議員会に報告します。

計画を実施していく中で事業に見直しや変更がある場合は、理事会で変更等の決定を行い、評議員会に報告、当該年度の事業計画に反映させてまいります。

5、広報・配布

第 5 期更別村地域福祉活動計画は、更別村社会福祉協議会評議員会で策定報告をした後、評議員を通して行政区（小地域）と福祉団体等へ 1 部ずつ配布します。また、社協広報「ふれあい」に概要を掲載します。希望される方には随時贈呈いたします。

第2章 第5期 更別村地域福祉活動計画の基本理念

社会福祉法人 更別村社会福祉協議会

第5期 更別村地域福祉活動計画

基本理念

人とひと 地域の絆でまちづくり

安心安全な生活ができるまちを 地域みんなの手で実現しよう

地域のつながりが希薄になってきている昨今、誰もが住み慣れた地域で生活し続けるためには、自分自身の持っている能力を生かし（自助の精神）、近隣住民が絆を持ち、互いに助け合いながら（共助の精神）、安心安全な住みやすい地域をつくっていく意識が重要です。同時に、地域の様々な社会資源を知り、必要なサービスを上手く活用していくことも大切です。（公助）

さらに、時には不足している、あるいは必要と思われるサービスを、関係機関に提案し、作り出す事も住みなれた地域で安心安全な生活を続けていくためには大切です。

第3章 第5期 更別村地域福祉活動計画の目標と施策の柱

第4期更別村地域福祉実践計画で掲げた基本目標『共に生き支えあい 笑顔で安心な福祉のまちづくり』を引き続き計画推進に生かしながら、

第5期更別村地域福祉活動計画では基本理念を『人とひと 地域の絆で まちづくり』として、地域の皆様の支えあいが強固となって絆となるような地域づくりを目指します。

そのために、

- 1、『みんなで支えあう地域福祉活動』
- 2、『住民の福祉向上と社会参加の促進』
- 3、『住民の安定した地域生活の確保』

という3つの「目標」を掲げました。

1、みんなで支えあう地域福祉の活動

地域の皆様が住みなれた地域で安心安全に暮らし続けるために、住民主体の地域福祉活動として、ボランティア、小地域ネットワーク活動、サロンなど様々な事業を推進します。

住民の皆様が地域に関心を持ち、地域の活動に参加されるよう、また推進機関としての社協組織充実の為、下記の1)～3)を施策の柱として事業を企画し実行します。

1)地域福祉の意識づくり・環境の整備

2)地域福祉活動推進体制の充実

3)人材育成と住民参加の場づくり

2、住民の福祉向上と社会参加の促進

高齢者等の介護予防事業を受託し実施します。居宅介護支援事業所を運営し、要支援・要介護の皆様とご家族の在宅生活のお手伝いをします。また、高齢者や障がいを持つ方、支援が必要な皆様が必要なサービスを利用できるよう援助したり、該当するサービスがない場合は実現に向け企画したり関係機関に提案したりしていきます。

誰もがいつまでも地域の一員として役割を持っていきいきと社会参加できるよう、下記の４）～６）を施策の柱として事業を企画し実行します。

4)介護予防の推進

5)生活を支えるサービスの充実

6)生きがいづくり・社会参加の促進

3、住民の安定した地域生活の確保

ひとり親等家庭や低所得の方、失業中の方等へ生活安定と自立支援のための事業を行います。また、子育て中の方が情報交換やリフレッシュ出来る事業を企画します。

住民の皆様が困ったときにどんな相談にも応じられるよう相談援助を充実させてまいります。下記の７）～９）を施策の柱として事業を企画、実行します。

7)ひとり親等世帯や子育て中の方への支援

8)低所得者等や援助が必要な方への支援

9)苦情・相談窓口の充実

第4章 第5期 更別村地域福祉活動計画の概要

人とひと 地域の絆で まちづくり

基本理念

目 標

3 住民の安定した地域生活の確保

2 住民の福祉向上と社会参加の促進

1 みんなで支えあう地域福祉活動

施策の柱

9) 苦情・相談窓口の充実

8) 低所得者等への支援

7) 子育て中の親等世帯への支援

6) 生きがいを社会参加の促進

5) 生活を支えるサービスの充実

4) 介護予防の推進

3) 人材育成と住民参加の場づくり

2) 地域福祉活動推進体制の充実

1) 地域福祉の意識づくり

具体的な事項

心配と相談
サービス苦情第三者委員

日常生活自立支援事業
法外援助・生活福祉資金貸付
要援護者把握
歳末義援金助成

母子家庭等入学支度金
子どもサロン活動支援
子育てリフレッシュ事業

H・E・A・R・T事業
世代間交流活動
高齢者クラブ連合会活動強化
福祉団体活動への助成

福祉車両・機器貸出
移送・送迎サービス
高齢者等生活支援事業
シルバーハウジングLSA派遣

いきいき健康クラブ実施
ふまねつとの普及と教室開催
居宅介護支援事業所運営

ボランティアセンター事業
小地域ネットワーク活動推進
サロン開設運営援助
ふれあい広場社会福祉大会開催

役員研修・第三者評価導入
老人保健福祉センター管理
自主財源創出事業検討

広報等への発行
ホームページの公開
地域福祉活動計画策定

1 みんなで支えあう地域福祉の活動

1)地域福祉の意識づくり・環境の整備

少子高齢や核家族化の進行により、更別村でも一人世帯や高齢世帯が増加しています。

それに伴い福祉ニーズも多様化し、今後、様々な生活上の困りごとが起こることが予想されます。

お互いが地域の一員であるという意識を持ち、情報収集し、地域の中で解決出来る事は、互いに助けあい、解決していくことで絆が生まれ、安心安全な地域が形成されます。

◆現 状

更別村社会福祉協議会では、社協や福祉団体が実施しているサービスや事業をお知らせする、広報「ふれあい」を年3回作成し全戸配布しています。

また、福祉新聞や北海道社会福祉協議会が発行する広報紙「明るい社会」を老人保健福祉センターロビーに掲示し最新の福祉情報を提供しています。

募金活動を推進している更別村共同募金委員会事務局を担っています。

ホームページは未開設です。

◆第4期更別村地域福祉実践計画評価からの課題

社会福祉協議会ホームページ開設は、より幅広く社会福祉協議会を知っていただける機会となります。第4期更別村地域福祉実践計画の中で開設を計画し実現できなかった課題でもあり、早急な開設が必要です。

その他、広報をはじめとした福祉情報をわかり易く提供し、住民の皆様の情報収集や、地域福祉に対する意識づくりに役立てていただく事が大切です。サービスの第三者評価は、より良いサービス提供のため、該当サービスの割り出しや評価機関の組織作りをしていく事が必要です。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・地域の意識づくり、環境の整備	・広報社協だより「ふれあい」の発行	共同募金・自主	○	○	○	○
	・ボランティアセンターだよりの発行	自主	○	○	○	○
	・福祉新聞、北海道社協だよりの掲示	自主	○	○	○	○
	・関係機関との連携会議参加	自主	○	○	○	○

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・地域の意識づくり、環境の整備	・社協ホームページの開設と随時更新	自主	○	○	○	○
	・サービス第三者評価への取り組み	自主				○
	・共同募金委員会の活動促進	公費・自主	○	○	○	○
	・地域福祉活動計画策定	公費・自主				○

2)地域福祉活動推進体制の充実

地域福祉推進団体として、積極的に役職員研修に取り組み、資質向上を図る必要があります。また、行政や民生児童委員協議会、関係機関との連携が重要です。

◆現 状

役員や職員の資質向上を図るため、役職員研修を行っています。また、職員は毎月、研修の復命を兼ねた研修を行っています。年度当初に目標を立て、中間と年度末に達成度を数値によって評価する目標管理を実施しています。

自主財源創出事業として平成25年度初めて、カレンダーリサイクル市を開催しました。

また、老人保健福祉センター管理運営を受託しています。

更別村共同募金委員会事務局として、地域福祉事業財源確保の為、募金活動を推進しています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

目標管理制度は、達成度評価のみ実施している事から、職員の目標に対する意識低下が見られます。今後は達成度や資格取得に対する報酬を検討することにより、職員の専門性や意識向上が図れると考えられます。

自主財源確保は今後も皆様の協力を得ながら、さまざまな方策を考え実行していきます。

自主財源の1つである社協会費も、用途を十分理解いただき、より多くの方や事業所が納得して加入いただけるようにしなければなりません。

様々な事業展開の中で、常に民生児童委員協議会や関係機関と連携を取り、ご意見をいただく事も大切です。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・地域福祉活動推進体制の充実	・理事会、評議員会の機能強化	公費・自主	○	○	○	○
	・役職員の研修の実施	公費・自主	○	○	○	○
	・職員教育と専門性の向上	公費・自主	○	○	○	○
	・職員の目標管理制度の実施	自主	○	○	○	○
	・サービス苦情第三者委員の委嘱	自主	○	○	○	○
	・自主財源創出事業の実施	自主	○	○	○	○
	・老人保健福祉センター管理受託	自主	○	○	○	○
	・民生委員児童委員協議会との連携	自主	○	○	○	○
	・地域包括支援センター職員派遣	公費	○	○	○	○
	・会員加入促進	自主	○	○	○	○
	・共同募金の活動強化	自主	○	○	○	○

3)人材の育成・住民参加の場づくり

地域福祉の担い手となる人材の発掘と育成が重要です。

既存の活動者や団体も活動や研修等を通じ、資質の向上や活動の活性化を図る必要があります。

身近な地域でのサロンの開催は、担い手の活動の場であると共に、地域の交流や居場所として開催推進が求められます。

◆現 状

ボランティアセンターへ預託いただいた寄附金を使用し、ボランティアの啓発、活動促進を図っていますが、事業への参加者が少ない状況です。

身近な地域で住民の方が運営するサロンの開設をすすめ、上更別地区に新たなサロンができています。

福祉団体等やボランティアにご協力いただいて、ふれあい広場（4年に1度は社会福祉大会）を開催しています。

認知症サポーター養成講習会は、地域包括支援センター主催で開催されています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

ボランティアの人数が減少し、年齢も高くなってきています。

しかし、行事等のボランティアはこれらの皆さんに頼る事が多く、負担となってきました。ボランティア活動し易い環境づくりやコーディネートが必要です。新たなボランティア活動者の発掘が急務です。

今後は定年退職者された方や男性のボランティア活動の推進を図ることも必要です。

学童生徒のボランティア体験としてワークキャンプをはじめ、施設等での交流事業は今後も実施していきます。近年、参加者が少ない事からより多くの皆さんに参加していただけるように、周知の方法や開催時期を調整する事が必要と思われます。

認知症サポーター養成講習会を開催し、色々な分野の方に広く受講していただくことで認知症の理解者を増やしていきます。

身近な場所で地域のボランティアによるサロンの開催を引き続き支援します。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・人材育成と住民参加の場づくり	・小中学生のボランティアワークキャンプ	自主	○	○	○	○
	・ボランティア講座(入門・スキルアップ)	自主	○	○	○	○
	・定年退職者や男性のボランティア活動推進	自主			○	○
	・ボランティア研修の実施	自主	○	○	○	○
	・認知症サポーター養成講習会開催	自主	○	○	○	○
	・ボランティア活動援助及び団体助成金交付	共同募金・自主	○	○	○	○
	・小地域ネットワーク活動助成金交付	公費・自主	○	○	○	○
	・小地域ネット除雪サービス助成金交付	自主	○	○	○	○
	・サロン開設支援	自主	○	○	○	○
	・サロン運営助成金交付	自主	○	○	○	○
	・ふれあい広場、社会福祉大会の開催	公費・共同募金・自主	○	○	○	○

2、住民の福祉向上と社会参加の促進

4)介護予防と要介護高齢者への対策

65歳以上人口は毎年増加しています。高齢になっても自立した生活を営む事が出来る健康寿命を長くするため、多くの方が参加できる介護予防事業を実施する事が重要です。

また、要支援・要介護状態になっても、その方らしく生活していただくために、居宅介護支援事業所の運営をはじめとして様々なサービスの提供が求められます。

◆現 状

介護予防事業「いきいき健康クラブ」は多くのご参加をいただいています。

ふまねっと健康教室は、平成25年度から開催会場を3箇所にし、一部午後で開催しましたが参加人数はあまり増加していません。サポーター数も新規の資格取得者がなく、更新されない方が増えたため減少しています

居宅介護支援事業所は、介護計画作成件数が減少していることから介護保険事業安定化基金を取り崩して運営しています。

居宅介護計画作成上、既成の制度で不足していると考えられるサービスを、事業所等に積極的に提案し実現しています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

ふまねっと健康教室を様々な場面で紹介、広報し、担い手となるサポーターを養成する必要があります。毎月の定期健康教室も、参加者を増やすための対策が必要です。

居宅介護支援事業は、利用者のご家族の希望に沿った計画立案と共に、今後多様化するニーズに対応し利用者様の自立支援のため、様々なサービスの開拓発見、提案が期待されます。ケアマネジャーの資質向上の為、積極的な研修参加も大切です。



◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・介護予防と要介護高齢者への対策	・介護予防事業「いきいき健康クラブ」受託	受託	○	○	○	○
	・ふまねっとサポーター養成	自主	○	○	○	○
	・ふまねっと健康教室の開催	自主	○	○	○	○
	・ふまねっとの普及	自主	○	○	○	○
	・居宅介護支援事業所の経営	自主	○	○	○	○
	・居宅介護計画作成	自主	○	○	○	○
	・介護予防計画作成と訪問調査受託	受託	○	○	○	○
	・相談援助、関係機関との連携	自主	○	○	○	○
	・不足するサービスの提案と実現化	公費・自主	○	○	○	○

5)生活を支えるサービスの提供

高齢や障がい等の方が住みなれた家で日常生活を営む中、通院などの移動手段、冬期間の除雪、日常の家事など様々なサービスが必要となってきます。

また、在宅で介護されているご家族への相談援助、リフレッシュ事業は自立支援の観点からも必須です。

◆現 状

介護予防教室等の送迎や村が必要と認めた方の通院等送迎を行っています。

ご家族等で入院者や要介護者等を送迎される場合の福祉車両貸し出しと、介護保険外で福祉機器の貸出を行っています。

長期で在宅療養されている方へのお見舞いを行い、また、介護されているご家族のリフレッシュ事業や激励訪問、さらに介護資格取得者への助成を実施しています。

村の補助事業、高齢者等生活支援事業を実施し配食、軽度生活援助、除雪、寝具乾燥の4事業を実施しています。

高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員派遣を受託し、入居者の安否確認や緊急時の対応、自主活動を促進しています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

高齢者等生活支援事業の内容と実施方法、回数などを見直し、より実情に即した形で実施できるようにしなければなりません。

家族介護者への支援事業を広く実施する事が必要です。認知症高齢者等への理解と家族等への支援の実施が必要です。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・生活を支えるサービスの提供	・福祉車両の貸出	自主	○	○	○	○
	・福祉機器の貸出	自主	○	○	○	○
	・移送サービス、送迎サービスの受託	受託	○	○	○	○
	・高齢者等生活支援事業の実施	公費	○	○	○	○
	・家族介護者の集いの開催	自主	○	○	○	○
	・家族介護者へのリフレッシュ事業の実施	自主	○	○	○	○
	・認知症高齢者等介護者の支援事業	自主			○	○
	・在宅介護者激励訪問の実施	ボランティア	○	○	○	○
	・介護資格取得者助成	自主	○	○	○	○
	・長期在宅療養者見舞金の交付	自主	○	○	○	○
	・シルバーハウジング生活援助員派遣	受託	○	○	○	○

6)生きがいつくいと社会参加の促進

社会参加や生きがいを求めている方を支援し、いつまでも役割を持って生活していただく事でいつまでも住みなれた地域でいきいきと暮らし続ける事が出来ます。

◆現 状

失業されている方や障がいを持っている方等が、規則正しい日常生活を維持していただく為にボランティア活動を行っていただくH.E.A.R.T事業を実施しています。

高齢者と児童生徒の交流事業を定期的の実施しています。児童から高齢者に送るふれあい郵便も小学校のご協力をいただき実施しています。

また、高齢者が経験を生かし働く高齢者勤労部門に、専門員を配置し登録し活動していただいています。近年会員数が減少してきています。

老人クラブ連合会の活動支援と助成金を支出しています。老人クラブ連合会も会員数が減少しています。

障がい相談員を配置し、障がいを持っている方や支援を必要とされている方とご家族の活動支援を行っています。十勝地区身体障害者福祉協会更別村分会と手をつなぐ親と子の会の事務局として、活動支援をすると共に助成金の支給を行っています。

遺族会の護国神社参拝事業と 7 月の戦没者追悼式にそれぞれ助成金と供花料を出しています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

H.E.A.R.T事業は、各機関に働きかけ必要と思われる方に利用いただく事が有効な事業運営となります。利用者がボランティア活動出来る場を多様に確保し、することも重要です。

障がい者を持つ方が地域で働き生活していく事を希望している場合、社会資源が少ないのが原状です。

世代間交流事業は、高齢者の楽しみと子どもには交流する事により思いやりの心や優しい気持ちが生まれます。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・生きがいづくりと社会参加の促進	・H.E.A.R.T事業の実施	自主	○	○	○	○
	・ふれあい郵便の実施	共同募金・自主	○	○	○	○
	・高齢者と児童との交流事業の実施	自主	○	○	○	○
	・ふれあい昼食会開催	自主・ボランティア	○	○	○	○
	・老人クラブの活動強化と助成金交付	公費	○	○	○	○
	・高齢者勤労事業専門員配置	自主	○	○	○	○
	・勤労事業での安全な作業の実施	自主	○	○	○	○
	・勤労事業会員の増強	自主	○	○	○	○
	・障がい団体の活動支援と助成金交付	公費	○	○	○	○
	・障がい者自立支援団体設立活動支援	自主				○
	・遺族会の活動費助成	自主	○	○	○	○

3、住民の安定した地域生活の確保

7)ひとり親等世帯や子育て中の方への支援

次代を担う子どもの健やかな成長を地域が一体となって支援する必要があります。

◆現 状

更別村睦の会（母子寡婦会）への活動助成を実施しています。

また、子どものサロン「わんぱくキッズ」の活動援助を行っています。

高等学校入学生徒を持つ母子父子家庭へ申請により入学支度金を支給しています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

更別村睦の会への助成、わんぱくキッズへの活動援助は引き続き行っていくます。

また、申請に基づき支給している高校入学時の入学支度金も広報等で周知し、継続します。

加えて、子育て中の方が集まり、リフレッシュや情報交換ができる事業を計画しています。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・ひとり親等世帯や子育て中の方への支援	・更別村睦の会への助成	公費	○	○	○	○
	・母子家庭等入学支度金の支給	自主	○	○	○	○
	・更別村睦の会への活動援助	公費・自主	○	○	○	○
	・こどもサロン活動援助	共同募金・自主	○	○	○	○
	・子育てリフレッシュ事業	自主	○	○	○	○

8)低所得者等や援助が必要な方への支援

◆現 状

日常生活自立支援事業（旧・地域福祉権利擁護事業）は、現在契約されている方はいませんが、生活支援員は村内に2名います。

失業中や低所得の方、障がいの方の日常生活支援としてボランティア活動をしていただく、H.E.A.R.T事業を実施し、現在1名が登録し週1回ボランティアを活動しています。

不測の支出で生活費不足になった方に一時金として法外援護資金の貸付を行っています。また、道社協が行っている生活福祉資金貸付の申請等事務取扱を行なっています。

歳末義援金の助成は、民生児童委員、共同募金委員会審査委員会と連携しながら実施しています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

H.E.A.R.T事業は登録者が、ボランティア活動から就労等、次のステップに進むための事業展開の検討が今後必要と考えられます。

法外援護資金貸付事業は、貸付時の利用者への面談と民生委員の意見聴取を行い、償還への理解と見通しを得た上での貸付を実施していかなければなりません。

また、生活福祉資金貸付事業については、貸付が多額になることから、貸付時の相談援助や償還への意思確認、長期にわたる相談援助の継続が必要です。

日常生活自立支援事業は、北海道社会福祉協議会と委託契約し、地元主体で運営する事で、より地域に密着した即応性のある制度としていく事が大切です。独居や高齢夫婦世帯の増加に伴い利用者の増加が予想され、スムーズな運営が望まれます。日常生活自立支援事業の次の段階として、今後成年（法人）後見への取組みが必要になると考えられ、検討が必要になってくることが予測されます。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・要援護者、低所得者等への支援	・日常生活自立支援事業の受託	受託	○	○	○	○
	・自立支援専門員、生活支援員研修	自主	○	○	○	○
	・法外援護資金貸付事業	自主	○	○	○	○
	・生活福祉資金貸付事業事務取扱	受託	○	○	○	○
	・HEART事業	自主	○	○	○	○
	・成年後見等権利擁護事業の検討	自主				○
	・要援護者の把握	自主	○	○	○	○
	・歳末義援金助成	共同募金・自主	○	○	○	○

9)苦情、相談窓口の充実

住民の皆様が困ったとき、どのような事でも相談できる窓口として、関係機関と連携をとりながら、常に情報収集し相談所を充実させる事が大切です。

◆現 状

職員を相談員として配置し、心配ごと相談所を開設しています。相談件数は少ない状況です。

また、福祉サービスの苦情受付、相談の各担当者を任命し、外部に第三者委員を委嘱しサービスの相談・苦情対応体制を整えています。

◆第4期更別村地域福祉実践計画からの課題

今後も相談や苦情には誠実に対応し、要望された場合は第三者委員の意見を聞いていける体制の継続が必要です。

また、心配ごと相談所の相談件数は少ないですが、困ったときにどんな事でも相談いただけるよう、相談所が設置されている事を広報し、周知していく事が大切です。

◆具体的な事項

施策の柱	活動計画と具体的な事業	財源	年次計画			
			26	27	28	29
・苦情・相談窓口の充実	・心配ごと相談所の設置	自主	○	○	○	○
	・サービス苦情第三者委員の設置	自主	○	○	○	○



地域福祉事業

ボランティアセンターの事業
・世代間交流
・ボランティア講座
・ボランティア研修
・地域交流サロン活動支援 他
小地域ネットワーク活動推進
ふれあい広場・社会福祉大会
子育て支援事業（居場所づくり・サークル支援）
ふれあい昼食会
心配ごと相談所、法外援護資金貸付
H.E.A.R.T事業
生活福祉資金貸付、日常生活自立支援事業（受託）
高齢者勤労事業
福祉団体運営支援、活動費助成

住民生活課・保健福祉課

（住民生活課）
日赤更別村分区、更別村遺族会事務局
国保医療給付他
（保健福祉課）
介護保険利用の相談、保健福祉医療総合調整、
児童、障がい、高齢者福祉 後期高齢者医療給付、介護保険
給付、介護保険事業所指導・支援
母子保健、育児支援、予防接種、住民健診、栄養指導 他
（地域包括支援センター）
介護予防（要支援者）計画作成、介護予防支援、在宅介護支援、
介護予防事業、高齢者の安否確認、認知症への理解 他

医療機関

更別村国民健康保険診療所（19床）
訪問診療、訪問リハビリ
通所リハビリ（介護保険事業）
更別村歯科診療所

関連団体・会議等

末広学級、農協年金友の会
更別村民生委員児童委員協議会
日本赤十字社更別村分区
更別村交通安全協議会
更別村環境美化協議会
地域ケア会議（毎月）
自立支援協議会
総合アドバイザーとの連絡会議
（医療・保健・福祉）

地域の社会資源
（更別編）

社協の介護保険・介護予防・関連事業

居宅介護支援事業所（在宅介護計画の作成）運営
介護予防事業「いきいき健康クラブ」（受託）
高齢者等生活支援事業（配食、除雪、軽度生活援助、寝具乾燥）
移送、送迎サービス（受託）
福祉車両、福祉機器貸出
長期在宅療養者お見舞い
家族介護者リフレッシュ事業（村外、村内）
在宅介護者養成

管内の病院等

帯広厚生病院、帯広協会病院、北斗病院、
北斗クリニック、帯広第一病院、開西病院、帯
広病院、協立病院他
カイラス、十勝リハビリテーションセンター他

施設等

福祉の里総合センター（保健福祉課所在）
シルバーハウジング（高齢者世話付住宅・社協受託30
戸）
更別村老人保健福祉センター（社協事務局所在）
生活支援ハウス「ふれあ〜る」（定員18室・20名）
福祉の里温泉（老人保健福祉センターに併設）
更別憩いの家 社会福祉センター
屋内ゲートボール 農村環境改善センター
更別・上更別幼稚園（定員80名一時、延長保育・40名）

福祉団体等

更別村共同募金委員会
更別村老人クラブ連合会
十勝地区身体障害者福祉協会更別村分会
更別村手をつなぐ親と子の会
更別村睦の会
更別村ボランティアずらん会
更別村赤十字奉仕団

管内の社会福祉事業所等

介護老人福祉施設：コムニの里おびひろ、
中札内恵津美ハイツ、コスモス苑、帯広けいせい
苑、帯広至心寮、愛仁園 他
介護老人保健施設：あかしや、ヴィラかいせい、
ケアステーションひかり、アンダンテ、
アメニティ帯広、ケアセンター白樺 他
特定施設入所生活介護：養護老人ホーム帯広信楽苑、
普仁園、有料老人ホームハイツ白樺 他
訪問介護事業所：ひなたぼっこ（大樹町）、
ヘルパーステーション夢という（中札内村）他
訪問看護事業所：かしわの杜（鹿追町）
訪問入浴介護事業所：アースサポート（帯広）
住宅改修・介護用品貸与事業所：マルベリーさわやか
センター帯広、ディステリア京屋 他

村内にある社会福祉の事業所等

社会福祉法人 博愛会：
・地域密着型介護老人福祉施設（定員29名）
・小規模多機能居宅介護支援事業所（定員25名）
・訪問介護事業所 ・訪問入浴介護事業所
・通所介護事業所（デイサービス、定員20名）
・短期入所生活介護事業所（ショートステイ）
・障がい者居宅介護事業所（障がい訪問）
社会福祉法人 どんぐり福祉会
・どんぐり保育園 ・学童保育所（受託）
・地域子育て支援センター（受託）
社会福祉法人 元気の里とかち
・認知症対応型共同生活介護（2ユニット・定員18名）

第5期更別村地域福祉活動計画策定委員会

(社会福祉法人更別村社会福祉協議会福祉部会)

委員長	古山 うめ (社会福祉法人更別村社会福祉協議会副会長)
副委員長	山口 壯 (社会福祉法人更別村社会福祉協議会理事)
委員	影山 恵子 (社会福祉法人更別村社会福祉協議会理事)
委員	日光 富男 (社会福祉法人更別村社会福祉協議会理事)
委員	佐藤さゆり (社会福祉法人更別村社会福祉協議会理事)

第5期 更別村地域福祉活動計画策定の経過

平成26年3月19日	第1回 策定委員会開催 第5期更別村地域福祉活動計画 答申
平成26年5月15日	平成26年度 社会福祉法人更別村社会福祉協議会 第1回 理事会 計画決定
平成26年5月26日	平成26年度 社会福祉法人更別村社会福祉協議会 第1回 評議員会 第5期更別村地域福祉活動計画 策定を報告



春の日高山脈と広尾自動車道（更別村内走行部）

第 5 期 更別村地域福祉活動計画

平成 26 年 5 月

社会福祉法人更別村社会福祉協議会